



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2010年夏号

第8回「朗読の日」公演より



オリオン「まど・みちおの世界」



VoiceK「言葉」



朗読コンクール入賞者「星言葉」



神田外語大学「声のことばの勉強会」



望月グループ「ともだち」

第8回「朗読の日」公演報告

今年も盛大に且つ華やかに「朗読の日」が、6月19日(土)20日(日)博品館で催されました。会員各自の一年間の研鑽の成果が発揮されたと思います。年々従来の朗読に‘ひと味’添えて、単なる朗読に止まらず種々趣向がこらされた傾向があったように思われます。又、今年は例年と異って1日3ステージ(各2時間)の公演で行われました。当初観客の入れ替えに苦慮しましたが、どうにか乗り切りました。しかし、今後の大きな課題となりました。観客動員は1300人で昨年の7%増であった事は嬉しい限りです。又積極的にお身体の不自由な方々をご招待し、喜ばれた事は意義ある事でした。各ステージの最後に朗読名誉会長の加賀美さんにお話しいただいた事は「朗読の日」に相応しく大成功だったと思われます。

(「朗読の日」実行委員長 阿部義高)

A・Fステージ司会 飯島 晶子



舞台袖で みなさんの息遣いを感じさせていただきながらマイクに向かう。スポットライトの中に出ている皆さん「みんな違ってみんないい」という言葉があるが、まったくその通りと感じながら……

年毎に、おひとりおひとりが、朗読を楽しんでいらっしゃる様子が伝わってきます。今年も さまざまな朗読の花が咲いた!花に見とれて、ぼっとして……お粗末な晶子でございました。

Bステージ司会 長野 淳子



長野さんには「地方からの発信」でご寄稿いただいております。
→4ページ

Cステージ司会 宮崎 弥生



この何年かは朗読者としての出演だけでしたが、久しぶりに司会もすることになり、今年は舞台袖から拝見致しました。

今年は1日3ステージというハードスケジュールで、すべてのステージに関わっている演出スタッフの方々は休憩時間がほとんどない状態でしたが、明るく手際よく進行し、出演者を温かく見守っておられました。それに答えるように出演者も日頃の成果を十分発揮でき、良い舞台だったと思います。



Dステージ司会 安倍 眞壽美



参加5回目の今年は岸恵子さんが翻訳した「パリのおばさんの物語」を朗読、またDステージの司会をお手伝いさせていただきました。

「パリのおばさんの物語」は、私のグループ「ひいらぎの会」の公演など秋田でも数回朗読している大好きな作品です。老いという大きなテーマを温かくさわやかに描いた大人の絵本。うまく伝えられたかはお客様の判断ですが、私自身は、いつもは緊張してあっという間に終わってしまう博品館の舞台が、今回は楽しく感じられました。回を重ねて肝が据わってきたのでしょうか?

Dステージの司会も、それぞれの作品がおもしろくつい聞き入ってしまい、思わぬ失敗もありましたが、何とか無事に終わりました。会員同士の手作りの舞台は、やはり楽しいですね。

今、「被爆ピアノ朗読コンサート」秋田公演に取り組んでいます。朗読協会の交流の中で生まれた新しい活動です。8月10日、秋田にいらっしゃいませんか。

Eステージ司会 河崎 早春



今年は袖からみなさんの朗読を楽しみつつ、進行のお手伝いをしました。毎年ずっと出演している方も多いこの公演、年を重ねるごとに、ひとりひとりの持ち味がはっきりしてきて、それが舞台上で生かされているのを見るのは楽しみです。

本番を前に緊張されている方をみると、思わず声をかけたり、なんとかリラックスできるようにと、自分のことのように気になってしまいます。緊張して固くなってしまえば、せっかくの持ち味を出せないで終わってしまいますが、逆にその緊張感が、時には練習のときにはない素晴らしいものを生み出すこともあるのです。お客様の空気によって朗読が変化していく…まさに一期一会の楽しさ。客席と朗読者とが空間を共有する、それが舞台朗読でしか味わえない楽しみだと思えます。私自身、舞台空間に身を委ねて、自分を解き放つことができる朗読者でありたいと思いつけていますが、なかなか難しいですネッ!さあ、また来年に向けてスタートです。

演出家からのメッセージ 飯田 輝雄

「第8回朗読の日」に御出演いただいた皆さま！裏方で色々とお働いいただいた皆さま！
 …お疲れさまでした。皆さまの御協力で公演も無事終了！ホッとしていまーす。ありがとうございました。

今回の公演は2日間で6ステージというハードスケジュールに初挑戦でした。
 3才の女の子から大学生、そして85才の大ベテランまで延べ100の方が参加した大朗読会（朗読会多しと言えども、こんなスケールは我が朗読会だけかも…）。

銀座博品館の大舞台で、年々着々と朗読力が進歩している方、今までと違った新しい世界に挑戦された意欲的な方、又全くの初舞台の方…大作から粋な小品まで、幅広いジャンルの作品が多くのお読み手を通し、聞き手の皆さんに伝わった（と願う）ステージでした。

これからもよりレベルアップして“朗読の普及”“日本の文化の伝承”となる素敵な朗読会を作っていければと思っています。

最後に、終了時間が予定より大幅にオーバーしたステージもあり、御迷惑かけ申し訳ありませんでした。反省会…反省会…。



VoiceK



クラーク記念国際高等学校有志



6月19日（土）Aステージ



6月20日（日）Dステージ



6月19日（土）Bステージ



6月20日（日）Eステージ



6月19日（土）Cステージ



6月20日（日）Fステージ



注文の多い料理店



城所ひとみ理事長



「声遊び」児玉朗講師



内藤和美講師



時村三枝子講師



加賀美幸子朗読名誉会長

裏方より

去年迄、皆さんの動きを見ながら、大変だなあ、偉いなあ、と呑気な顔をしていたから、目をつけられたのでしょうか、場内係のチーフをやれ！ですって。一夜漬け、一点突破型の人間なので、今回も集中してその線で。

役割、課題、日程、顔写真つきメンバー表、等々メモ化して、「万能ノート」作製。強い味方になりました。皆さんへも可能な限りメッセージを送りました。大声をはりあげ、大げさな身ぶり手ぶりで、明確な指示、交通整理を心がけました。修羅場では、明確さが肝要です。皆さんには、無理を沢山言いました。ご免なさい！そして、ありがとう！一人一人の顔を思い浮かべてお礼申し上げます。又色々語りあえた方へ！僕自身、多くを学ぶ事が出来、ありがたく幸せな思いで一杯です。(茂木英治)



「朗読の日」に出演者の感想

- 何度出演しても上がってしまいます。銀座博品館に出演するという事は大きな励みになります。
- このような規模の公演を維持していくのは大変な事。スタッフ、運営委員、お手伝いの方に感謝でいっぱいです。
- 大舞台を経験出来、これからの朗読活動に自信を持つことが出来た。
- 舞台は、シンプルだが照明、音響も良く楽しく参加出来ました。
- お客様から、じっと聴いている朗読会より、作品の変化があり、きれいで楽しい舞台で、とても面白かったと好評でした。
- 自分にあった作品を選べたことで、気負うことなく落ち着いて朗読が出来ました。
- この数ヶ月間「朗読とは何か」テーマの追求、声の出し方、表現力など多くの事を学びましたが、もっと練習しなければと思った。
- 公演時間が長引いたので、忙しいお客様が聴けないのではないかと心配した。
- 今回の公演は出演のみの参加だった。改めて思うのは、「朗読の日」は皆で労力を出し合って作るから楽しいということ。今回そういう意味でいまひとつ充足感が足りない。

楽しい朗読実践講座 神田外語大学 児玉朗

私が NPO 日本朗読文化協会の朗読教室を担当するようになってから約 7 年になります。この 7 年間の指導を踏まえ、朗読者にとっての課題は何か、入門・初級・中級・上級のそれぞれのレベルに即して、まとめて提示しようと思います。実は、どの課題一つとっても、朗読者自身がどのレベルにあるかとは関係なく、永遠に重要な課題ばかりなのですが、やはり、より基本的なことはできるだけ早い時期に取り組むことが肝要だと考えますので、あえてレベル別に、課題をまとめることにしました。

楽しい朗読実践講座 (1) ー入門・初級編ー 言葉感覚を磨く

“朗読”であれ“語り”であれ、演劇の“せりふ”と同じく、お手本となるサンプルは日々の暮らしの中にあります。私たちの身の回りで人はどのように言葉を交わしているか、細心の注意を向けて聞いてみてください。あるテーマについて仲間と話し合い、後で、その録音を聞いて一字一句をそのまま文字に起こして、最後に、その文章をできるだけ録音の通りに話す、という作業は、案外、自分の言葉に対する感覚を豊かにするものです。

台本を大切に扱う

朗読の台本は、稽古のためであれ本番のためであれ、非常に大切なものです。台本はまさに演劇の舞台におけ

る相手役と同じ存在だということさえあります。コピー機がなかった時代には、いや、拡大コピーが今ほど簡単でなかった頃までは、朗読者自身が手書きで程よい大きさの文字に書き写し、簡単な表紙をつけて、大事に扱ったものでした。

自分に合った呼吸法 (=発声法) を身につける

言葉を声にする朗読において最も大事なポイントは呼吸法です。私たちは、普通、吐く息に声をのせることによって言葉を発します。つまり、私たちは、吐く息に、強弱・大小・軽重・緩急・長短をつけたり、また、息の通りを細くしたり太くしたりして、その瞬間瞬間発する言葉の意味と内容・感情に応じて呼吸をコントロール (=抑制) します。呼吸を自在にコントロールするためには、それを自分の身体の一部にしておかなければなりません。

因みに、現代の日本語には、

- ① 仏教の音楽と言われる声明・読経・謡曲のもの
- ② 明治時代になって学校教育の現場で行う讚美歌ないし音楽系のもの
- ③ 各人が日々の暮らしの中で自然に身につけている生活系のもの

この 3 種類の発声法 (=呼吸法) が混在していると思われます。朗読する内容と意図に応じて呼吸法を使い分けるのも、楽しい朗読を実現する一つのやり方だと思います。

宮城県仙台より

言葉の心を窓にして

長野淳子

学生時代 教育実習の国語の授業で 生徒たちの前で小説を読んだのが「朗読」との大きな出会いだったと思います。あの時の生徒たちの食い入るような眼差しは、今でもはっきりと思い出すことができます。

その後、フリーアナウンサー、ナレーター、役者などの仕事を通して、様々な作品に出逢い「文字」から「生きた言葉」へと作品を立上げていく中で、表現者の担う役割を強く感じながら現在も「朗読」を続けています。

近年は「ライブリーディング ギフト」と題して、月1回のペースで、様々な楽器の演奏とコラボレーションした「朗読会」を、地元仙台で開催しています。

3月は、我が家のお雛様を会場に飾って、チェロの演奏にのせて、芥川龍之介の「雛」を、4月は、満開の桜を会場に飾って、マリンバの演奏にのせて、瀬戸内寂聴の「しだれ桜」を読ませて頂きました。朗読会後の「茶話会」も、毎回のお楽しみです。

また先日は、日帰りのバスツアーで、お隣の県 山形県寒河江市にある、出羽の国の大庄屋 「柏倉九左エ門家」に伺いました。この「柏倉九左エ門家」は、長きに渡って山形藩の大庄屋を務めた旧家で、県内屈指の大地主として、堂々とした屋敷構えを今に伝えています。

築360年程の屋敷は、現在も16代当主の住居になっていて、ご当主が参加者の皆さんにお抹茶を振る舞って下さる傍らで、倉本聡の「ニンゲルの森」を朗読させて頂きました。

物語の中に登場する森に住む長老が、九左エ門家の庭にある樹齢500年の樺の姿と重なり何とも言えない趣のある「朗読会」になりました。

また柏倉家の仏蔵には、京都東本願寺の本堂の様式が踏襲された「仏殿」があり、そこには鎌倉初期のものと伝えられる「阿弥陀如来像」が安置されています。

2月には、その仏蔵で「仏前結婚式」が行われ、私は司式を務めさせて頂きました。

仏殿が持つ「厳肅さ」と、阿弥陀様の「荘厳さ」に包まれて、こちらも趣のあるお式でした。

東北には、日本の原風景のような所や、歴史を感じさせる場所などがたくさんあります。

東北生まれの東北人として、地元根差したものを大切にしながら、これからも活動を続けていきたいと思っています。



兵庫県川西より

夜行バスに夢を乗せて

植田聖子



皆様はじめまして。私は関西から通わせていただいております新人の受講生です。自宅は兵庫県の川西市、歌劇で有名な宝塚から電車で15分くらいのところですよ。

日本朗読文化協会の講座は、児玉先生と壤先生の教室にお世話になり、月3回毎夜行バスで通っています。この6月は、念願の『朗読の日』を連日6ステージ、銀座博品館に入り浸って観賞させて頂きました。これまでずっと憧れていたステージが目の前にある感激。夢のようなひとときでした。東京に通い始めてようやく10ヶ月になります。初めて東京に着いた日は、右も左もわからず、新宿駅の中をうろろして地下鉄の乗り換えひとつにも時間のかかる始末でしたが、今は少し東京の街並みにも教室の雰囲気にも慣れて参りました。

私の発表会体験は、児玉教室朗読発表会として、今年3月に朗読させて頂いていた神田外語学院のアッセンブリホールです。思えばこれは今につながる大きな出来事でした。

私は、地元ではTVラジオのCM吹替えやナレーション、司会など、言葉に関することを仕事としておりますが、東京ではとても通用しないと思っておりましたし、朗読はまったくの初めてでしたので、作品を決めるところから何を読めばいいかわからず先生にご相談しました。薦められたのは田辺聖子の「今昔物語」でそれも関西弁で読むように言われたときにはびっくりしました。

家族や友人も「東京に勉強に行ってみて、なんで関西の言葉で練習するん？」と不思議がっていましたし、正直、私も半信半疑でした。それが結果は、私には想像もつかなかったような作品に仕上がっていたのです。2名の先輩が共演して下さいたことにもとても感激しました。児玉先生の「あなたしか読めない今昔物語だから」との言葉もわかりました。楽しい発表会でした。

私は、レッスンは大好きだったのですが、月3回東京に通うことが結構たいへんになっていて、次のクールは少しお休みしようかと思っていました。考えに考えぬいた結論でした。でも、発表会の夜、皆さんとお別れしてから夜行バスを待っている間、なぜかずっと台本を読んでしまうのです。バスに乗ってからも夢の中まで台詞がでてきてほとんど眠れず、明け方大阪駅に着いたときには、続けることを決めていました。私が朗読に興味をもったのは、もう8年くらい前でしたでしょうか、私と同じようなお仕事をされている東京の方が、朗読の世界で活躍されている新聞記事を拝見したのがきっかけでした。この仕事の先にはこんな道もあるんだなあというのが感想でした。昨年インターネットでこちらの協会のことを知り、探し求めていた先生方に出会えたようなときめきと駆り立てられるものがあり、申し込みのお電話をさせていただいたのがご縁となりました。今は、もっと深く朗読の道を楽しんでいる私がいいます。そして、実際の朗読は必然的な仕事の延長などではなく、もっとピュアな部分で私に迫ってきてくれました。理屈ぬきで私は朗読が好きで、この朗読文化協会の雰囲気が好きで、好きだから続けたいんだと思いました。まだまだはじめてばかりの第一歩ですが、これからの景色がどんなふうになっていくのか、ドキドキワクワクしながら進ませていただきたいです。先生方、クラスの先輩の皆さん、そして事務局の皆様方、こんな私ですが今後ともご指導のほどどうぞよろしく願い申し上げます。

朗読ボランティアグループ かもめ

ヒルデモアたまブラザー・ビレッジⅢ 朗読の集い ～入居者参加型～

「7月15日、館内見学の日に合わせて朗読会を開いてもらえないか」とヒルデモア・ビレッジⅢより依頼がありました。「入居者参加型の催し」を希望とのことで、これは一昨年のかもめ朗読会の際、こちらから提案して好評を得たスタイルのアンコールです。

梅雨の晴れ間の当日、壁二面がガラス張りの広いラウンジは外の緑と陽光が眩しい程明るく、グランドピアノの美しい音色が流れて、この上なく心地良い朗読会場となりました。いつものように「声を出すことの大切さ」をお話し、ストレッチと北原白秋で発声。合唱

に続いて、かもめ4人の朗読、そして入居者男性お二人を迎え男女7人並んでの「60歳のラブレター」。会場との掛け合いで谷川俊太郎の「あいしてる」。クライマックスは夏の定番とは言え心に沁みる「長崎の鐘」の大合唱。

客席にマイクを向けると、戦地や空襲の体験談が次々に飛び出して、話し終えていただくのに一苦労でした。「そのご体験や悲惨な情景を風化させないで、若い世代に伝えて下さい」と結び、「又来てくださいね」の声に送られて“明るく快適な居住空間”を後にしました。(望月鏡子記)

出演：稲本由美子 那須俊子 深沢眞理子 宮内佳代子 ピアノ：岡本節子 司会と企画・構成：望月鏡子



陽光あふれるラウンジ



ハイッ、大きく息を吸って



入居者の男性とごいっしょに

八重洲朗読会

八重洲朗読会は超満員！

7月24日の朗読会は、コンクール入賞の縣久恵さん・山崎巖さん、そして、会員の阿部義高さん、松島邦さんの朗読でお客様115名をお迎えして、大盛況でした。

「この猛暑の中だから、お客様はあまりいらっしゃらないのでは…」という心配をよそに、開場の15分前には列ができ、すぐに満席。追加の椅子を並べるのにスタッフ、それに早くに来た会員の方も一緒に大わらわでした。

コンクール入賞者の方々を含め、それぞれの読みは個性豊かで聞き応え充分。「夏の暑さも何のその。出かけて来て本当に良かったと思いました。いつも素敵なひとときをありがとうございました」といううれしいご意見をいただきました。

次回9月11日の朗読会もお客様に楽しんでいただけるよう、会員のみなさんのご協力を得て、スタッフ一同頑張ります。(土岐志のぶ)



縣久恵

山崎巖

阿部義高

松島邦



P5 写真撮影 田中 邦子

平成 22 年度通常総会議事録

日 時：平成 22 (2010) 年 6 月 29 日 (火) 午後 2 時 0 分～2 時 40 分
場 所：港区赤坂区民センター 東京都港区赤坂 4-18-13 赤坂コミュニティぷらざ内

総会に先立ち、城所理事長より、先に開催された第 8 回「朗読の日」公演が、昨年度を上回る入場者数を記録し、成功裏に終了した旨報告され、関係者並びに会員のご尽力に対して感謝の意が表された。

定刻に至り司会飯島晶子が開会を宣し、本日の総会出席者数は、正会員数 141 名 出席者数 95 名 (うち当日出席者 18 名、委任状 77 名) により、総会は定数を満たしたので有効に成立した旨報告された。

議 題：

- 第 1 号議案 議長選出の件
互選により城所ひとみ氏が議長に選出された。
- 第 2 号議案 議事録署名人選出の件
議事録署名人として田中邦子氏および安田綾子氏が選出された。
- 第 3 号議案 定款変更の件 (総会資料 1 参照：配布済み)
山田事務局長より、下記 4 項目の定款を変更したい旨提案され、全会一致で承認可決された。
①第 6 条および②第 7 条 学生会員の新設。③第 17 条 運営委員長は運営委員から互選され、理事会が承認する。④第 30 条 事業計画および収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、毎事業年度毎に理事会の議決を経なければならない。
- 第 4 号議案 役員改選の件 (総会資料 2 参照：配布済み)
任期満了により、下記 8 名の理事と 1 名の監事について、議長より提案され、全会一致で承認 可決された。

平成 22 年度役員 (理事・監事)

- 理事 阿部 義高 元株式会社電通顧問
理事 有賀 康子 朗読家
理事 飯島 晶子 朗読家 ナレーター (有) VoiceK (ヴォイスケ) 代表
理事 飯田 輝雄 株式会社メディア・サウンズ 代表取締役
理事 伊澤 逸平 株式会社八重洲ブックセンター常任顧問
理事 城所ひとみ エスプラード赤坂商店街振興理事長、
赤坂クインビル株式会社代表取締役
理事 松野 正義 株式会社インターナショナル・カルチャー代表取締役
理事 茂木 英治 株式会社ビデオ・パック・ニッポン顧問
監事 田中 久弘 国際テアトロ奨学会理事長

- 第 5 号議案 2009 (平成 21) 年度事業報告書並びに収支決算書承認の件 (総会資料 3 参照)
山田事務局長より配布済み資料をもとに平成 21 年度収支決算報告がなされ、引き続き、伊澤監事より、「私は、平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの第 9 回会計年度における会計監査を行い、次のとおり報告いたします。1. 監査の方法の概要会計監査について、会計帳簿並びに係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて財務諸表及び収支計算書の正当性を検討致しました。2. 監査の結果、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに収支計算書は、会計帳簿の記載と一致し、日本朗読文化協会の財政状態、正味財産増減及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。」と述べられた。その後、2009 (平成 21) 年度事業報告書並びに収支決算書は全会一致で承認可決された。

- 第 6 号議案 2010 (平成 22) 年度事業計画案並びに収支予算案承認の件 (総会資料 4 参照)
添付書類をもとに、事業計画及び収支予算について下記の皆様から説明がなされた。
第 8 回「朗読の日」及び学生ワークショップ : 阿部理事
第 5 回朗読コンクール : 坂本有子
平和への祈り : 宮内佳代子
朗読教室およびその他事業、平成 22 年度収支予算: 山田事務局長
平成 22 年度の収支予算は 50 万円の赤字予算となるが、管理費に協会パンフレット作成費ほか特別費用 68 万円が含まれているためであることが説明された。
その後、2010 (平成 22) 年度事業計画案並びに収支予算案は、全会一致で承認可決された。

議長より、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べられ閉会した。

上記のとおり通常総会の議事に相違無いことを証するため、ここに議長及び議事録署名人が記名・捺印する。

平成 22 年 6 月 29 日

議長	城所ひとみ	印
議事録署名人	安田綾子	印
議事録署名人	田中邦子	印

全会員のボランティア活動保険の加入

ボランティア活動の拡大に伴い、事故等のリスクも増加してきております。当協会はそのリスク管理対策として 東京都社会福祉協議会が保険契約者となるボランティア保険に協会全員 (但し、団体会員は除く) が加入いたしました。今まではボランティアグループかもめのみの加入でしたが、ボランティア活動を積極的に展開して地域社会や文化・教育・福祉への貢献していくためには、全会員のボランティア保険加入が必要と判断いたしました。(ボランティア保険の詳細説明は次号予定)

お知らせ

2010 年 10 月開講「朗読教室」のご案内

8 月 1 日 (水) 受付開始 (先着順) 別紙「朗読教室のご案内」をご覧ください。

「声に出す平和への祈り」

港区平和都市宣言記念朗読会

日時：平成 22 年 8 月 15 日 (日) 開演：14:00

会場：港区高輪区民センターホール 入場無料

共催：港区・NPO 日本朗読文化協会

内容：～鎮魂を願う終戦から 65 年～

- 木場耕平「長崎で母と妹二人が犠牲に」
- 合唱 (グリーンフラッシュ)「椰子の実」「野ばら」他
- 朗読 乾 宣太郎「ビルマの豎琴」
- 献読

会員情報

- 2010年5月～2010年7月に入会されたのは以下の方々です。安藤渚 (学生会員 1 号)、大幡かおり、葛城てる子、ねじめとしえ、日比堯子、宮塚郁子 (朗読の日入会) 敬称略・50 音順
- ご寄付：岡田雅之様 (新潮社)、清田成子様 (着付師)、熊澤南水様、有賀康子様、宮入順子様 (朗読の日) 公演会場においてご寄付いただきました。(株)メディア・サウンズ (朗読の日) 演出家飯田輝雄) からご寄付をいただきました。
- 事務局からのお知らせ
8 月 17 日 (火)～8 月 19 日 (木) の 3 日間 事務局はお盆休みでクローズとなります。

編集後記

- 博品館の「朗読の日」本当にどの舞台も素晴らしかったですね。この素晴らしさを記録に残すにはページが足りません。
- 5 月ホームページリニューアルしたが、その結果 1 日平均アクセス数 (4 月までは 50、5 月 116、6 月 116、7 月 98) が倍増しました。HP をみたくえで朗読教室・イベントなどの事務局へのお問合せ・お申込が着実に増加しております。改めて HP 充実の効果が大きいことを実感いたしました。

朗読ニュース 2010 年夏号 (通巻 23 号) 発行日 2010 年 8 月 6 日
発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F
TEL : 03-3584-4451 FAX : 03-3584-4452
e-mail: npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔
■ KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲
■ KICG15071
- ◆ 若紫(上・下)
■ KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴
■ KICG15073
- ◆ 葵(上・下)
■ KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下)
■ KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル
定価・各2,000円(税込)



源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- 朗読：NPO日本朗読文化協会会員
高崎弥生・秋山雅子・若瀬弥生
福田雅世・飯島晶子・安倍真壽美
坂本有子・加藤敏子・松島邦
- ① 桐壺
② 藤壺
③ 空蟬
④ 夕顔
⑤ 若紫
 - ① 末摘花
② 朧月夜
③ 六条の御息所
④ 明石
⑤ 源氏物語の魅力

好評発売中

KICG-5068~69
CD2枚組
定価3,000円(税込)

【第42回】日本レコード大賞【企画賞】受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。
全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル
好評発売中
各定価 ¥2,000(税込)

温かく、優しく迎え入れられる
「ふるさと」がいっぱいあります。



【CD全47タイトル】■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵：鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を
現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、
大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。
かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて
来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化財産とな
っています。
このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によ
って地元の言葉で現地収録しました。
大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれ
ていきますことを、心から願っています。



全65タイトル好評発売中!

美しいことばと豊かな心

Roudoku Series

朗読CDシリーズ心の本棚

【第一弾】 【第二弾】

CD全15タイトル 各 ¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各 ¥2,000円(税込)

【第三弾】日本の詩歌

CD全15タイトル 各 ¥2,000円(税込)

【第四弾】名作を聴く

CD全10タイトル 各 ¥2,000円(税込) / 2枚組各 ¥3,500円(税込)

【第五弾】日本人のこころと品格

CD全10タイトル 各 ¥2,000円(税込)

■ 詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でのお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

● 下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル

0120-340-670

インターネット

<http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)



KING RECORDS

F A X

03-3945-9086

ハガキ

〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内 キングダイレクトアクセス行

*キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h/ramaTV